

条例等の見直しに当たっての論点整理（メモ）

1 「遺伝子組換え作物の栽培等による交雑等の防止に関する条例」の見直しについて

**（論点）**  
**ア 遺伝子組換え作物の交雑・混入による生産上及び流通上の混乱を防止する必要性について**  
**イ 試験研究への影響について**

区分	道 民 意 見	道 民 意 識 調 査	食の安全・安心委員会																																				
ア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ GM食品に不安を持つ消費者がいる以上、GM条例や基準は現行どおりとしてほしい。</li> <li>・ 開放系での栽培の規制を堅持してほしい。本当に道内で栽培されていないかどうかを徹底して調査していただきたい。</li> <li>・ GM食品は20年単位で食べ続けても影響がないのか、しっかりと研究した上でないと不安があるので、条例できちんと規制すべき。</li> <li>・ 農薬を選ぶか、GM作物を選ぶか、将来的にはどちらかになると思う。</li> <li>・ GM作物は、長期的に摂取したときの人体への影響について、十分に検証されたとは言えず、安全性は不十分に感じる。</li> <li>・ GM作物は悪だと考えるのは問題があると思うが、薬と同様に様々な動物実験や臨床での実験を行い安全性の確認が必要。</li> <li>・ GM作物、非GM作物、有機栽培など、それぞれの作物を栽培したいと考える生産者の選択の権利が守られるための共存の施策が必要。</li> <li>・ GM作物の栽培を、国の規制・制度を超えて過度に規制すべきではない。研究開発全体の国際的な遅れをもたらす。</li> <li>・ GM作物の環境影響は国により安全性が確保されており、GM食品の安全性評価は国際基準に沿ったもの。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 遺伝子組換え食品の安全性について  <span style="font-size: 1.2em;">{</span> <table style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">不安に思う+やや不安に思う (H23)</td> <td style="text-align: center;">(H20)</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">65.2%</td> <td style="text-align: center;">78.2%</td> <td style="text-align: center;">△13.0ポイント</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">不安に思わない+あまり不安に思わない</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">20.5%</td> <td style="text-align: center;">13.8%</td> <td style="text-align: center;">6.7ポイント</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">わからない</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">13.7%</td> <td style="text-align: center;">6.9%</td> <td style="text-align: center;">6.8ポイント</td> </tr> </table> </li> <li>・ 遺伝子組換え作物を栽培することによる自然や環境への影響  <span style="font-size: 1.2em;">{</span> <table style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">不安に思う+やや不安に思う (H23)</td> <td style="text-align: center;">(H20)</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">66.1%</td> <td style="text-align: center;">74.6%</td> <td style="text-align: center;">△8.5ポイント</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">不安に思わない+あまり不安に思わない</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">17.8%</td> <td style="text-align: center;">11.2%</td> <td style="text-align: center;">6.6ポイント</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">わからない</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">15.7%</td> <td style="text-align: center;">12.8%</td> <td style="text-align: center;">2.9ポイント</td> </tr> </table> </li> </ul>	不安に思う+やや不安に思う (H23)	(H20)		65.2%	78.2%	△13.0ポイント	不安に思わない+あまり不安に思わない			20.5%	13.8%	6.7ポイント	わからない			13.7%	6.9%	6.8ポイント	不安に思う+やや不安に思う (H23)	(H20)		66.1%	74.6%	△8.5ポイント	不安に思わない+あまり不安に思わない			17.8%	11.2%	6.6ポイント	わからない			15.7%	12.8%	2.9ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ GM条例があるから有機農業や特別栽培に安心して取り組めるという生産者がたくさんいる。また、消費者の中には不安を抱いている人もいるので、GM条例はこのまま残すべき。</li> <li>・ 道民意識調査結果からも、GM食品を食べることについての抵抗感があり、GM食品の安全性の検査にはたくさんのお金や時間がかかる。GM技術を使わないで安全な生産方法で対応すべき。GM条例はこのまま、もしくはもう少し規制をきつくして継続してほしい。</li> <li>・ 安全には基準があるが、安心には消費者個々に基準があり、今、安心が求められている。8割の道民が遺伝子組換え食品を食べたくないと言っており、現状として道内でGM作物をつくることは考えられない。</li> </ul>
不安に思う+やや不安に思う (H23)	(H20)																																						
65.2%	78.2%	△13.0ポイント																																					
不安に思わない+あまり不安に思わない																																							
20.5%	13.8%	6.7ポイント																																					
わからない																																							
13.7%	6.9%	6.8ポイント																																					
不安に思う+やや不安に思う (H23)	(H20)																																						
66.1%	74.6%	△8.5ポイント																																					
不安に思わない+あまり不安に思わない																																							
17.8%	11.2%	6.6ポイント																																					
わからない																																							
15.7%	12.8%	2.9ポイント																																					
イ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ GM技術は医療や食料増産などにも役立つと言われているが、どちらもGMでなければできないわけではない。</li> <li>・ GM作物が必要になった時に備えて試験研究を進めるべき。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 遺伝子組換え技術の試験研究について  <span style="font-size: 1.2em;">{</span> <table style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">積極的に推進+一部用途に限定して利用 (H23)</td> <td style="text-align: center;">(H20)</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">52.2%</td> <td style="text-align: center;">51.1%</td> <td style="text-align: center;">1.1ポイント</td> </tr> </table> </li> </ul>	積極的に推進+一部用途に限定して利用 (H23)	(H20)		52.2%	51.1%	1.1ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本は遺伝子組換えの不安を持つ人を考えた上で、慎重に研究を行っている。</li> </ul>																														
積極的に推進+一部用途に限定して利用 (H23)	(H20)																																						
52.2%	51.1%	1.1ポイント																																					

## 2 「遺伝子組換え作物の栽培等による交雑等防止措置基準」の見直しについて

### ( 論 点 )

- ・ 交雑防止措置基準の見直しを要する新たな知見や技術について

- ・ 道としては、平成21年度以降、見直しの検討を要する新たな知見や技術などに関する情報収集に努めてきたが、そうした新たな情報は得られていない。  
また、独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構北海道農業研究センター及び地方独立行政法人北海道立総合研究機構農業研究本部中央農業試験場とも本件に関し意見交換を行っており、いずれも同様の見解であった。

道 民 意 見	道 民 意 識 調 査	食の安全・安心委員会
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交雑防止については、距離で隔離することは不可能に近いのではないか。GM作物の取扱いは今後も慎重な対応をすすめてほしい。</li> <li>・ 交雑防止のために隔離すべき距離の安全率2を廃止して、農林水産省が定めた隔離距離とする。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国の基準の2倍の距離でも交雑は起きている。生態系への影響を最小限にするためにも一般栽培だけでなく試験栽培も厳格な措置が必要。</li> </ul>

### 3 その他

#### ( 論 点 )

ア 道民への積極的な情報提供やリスクコミュニケーションについて

イ GM食品等に関する表示基準について

ウ 非GM作物の種子の安定供給について

区分	道 民 意 見	道 民 意 識 調 査	食の安全・安心委員会																
ア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道民への積極的な情報発信、リスクコミュニケーションの開催を要望する。</li> <li>・条例の見直し・検討が必要な時は、消費者も参加できる場を作っていただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遺伝子組換え作物の情報入手について</li> </ul> <p>(回答上位)</p> <table border="0"> <tr> <td>パンフレットや小冊子など</td> <td>62.8%</td> </tr> <tr> <td>インターネット</td> <td>34.7%</td> </tr> <tr> <td>本、科学雑誌など</td> <td>20.1%</td> </tr> </table>	パンフレットや小冊子など	62.8%	インターネット	34.7%	本、科学雑誌など	20.1%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・GM作物、食品に対する消費者の拒否感はヨーロッパにもある。技術は非常にいいもので、それを説明すれば、理解され 受容されるとされている。状況の変化があつて、何か新しく判断するときには、判断できる材料を与えられた上で、しっかり話し合つて判断したいという意見が情報の提供のカテゴリに出てきている。</li> </ul>										
パンフレットや小冊子など	62.8%																		
インターネット	34.7%																		
本、科学雑誌など	20.1%																		
イ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・GM食品の表示を最低限EU並の基準とするよう検討願う。消費者の選ぶ権利を尊重してほしい。</li> <li>・GM大豆の混入割合が5%以下の輸入大豆が「遺伝子組換えでない」という表示は、安全・安心の観点から問題である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・購入しようとした農作物及び加工食品に「遺伝子組換え」と表示されている場合</li> </ul> <table border="0"> <tr> <td>購入しない</td> <td>(H23)</td> <td>(H20)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>50.8%</td> <td>50.9%</td> <td>△0.1ポイント</td> </tr> <tr> <td>他に代替えがなければ購入する</td> <td>29.3%</td> <td>32.8%</td> <td>△3.5ポイント</td> </tr> <tr> <td>他より安ければ購入+気にせず購入する</td> <td>15.7%</td> <td>12.6%</td> <td>3.1ポイント</td> </tr> </table>	購入しない	(H23)	(H20)			50.8%	50.9%	△0.1ポイント	他に代替えがなければ購入する	29.3%	32.8%	△3.5ポイント	他より安ければ購入+気にせず購入する	15.7%	12.6%	3.1ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表示の明確化や対象品目の拡大を国に求めていくべき。国の表示に先立って、道産農産物や加工食品にGMについての明確な表示導入を進めることも意義がある。</li> </ul>
購入しない	(H23)	(H20)																	
	50.8%	50.9%	△0.1ポイント																
他に代替えがなければ購入する	29.3%	32.8%	△3.5ポイント																
他より安ければ購入+気にせず購入する	15.7%	12.6%	3.1ポイント																
ウ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大手種苗会社に種子が独占されることが心配。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・種子の区別がつかなくなることだけは、絶対ないようにしてほしい。</li> </ul>																